

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 10 階 1009 号室	次年度国際・社会奉仕委員会 委員長	徳上 洋之
	ロータリー財団補助金小委員会 委員長	新堂 博
<b>リーダー 役職・氏名</b>		
パストガバナー 簡 仁一		
<b>議事録作成者</b>	尾崎 雅俊(大阪大淀)、北井 雄大(大阪平野)	

開会：(15 時 30 分)
発表者：パストガバナー 簡 仁一
<p>【記録内容】開会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から当地区の国際奉仕委員会と社会奉仕委員会は統合された。</li> <li>1 つの奉仕活動は結局あらゆる奉仕部門に少しずつ関連しているが、その入り口として各奉仕部門に分けられている。</li> <li>ロータリークラブは奉仕の心を育てる団体である。利他の心や奉仕の心をもって素晴らしい活動をしていきましょう。</li> </ul>
発表者：次年度国際・社会奉仕委員会 委員長 徳上 洋之 (15 時 38 分)
<p>【記録内容】国際奉仕・社会奉仕について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みなさんが地区方針を理解して頂いていることを前提に、今後具体的にどう活動すべきかを話したい。</li> <li>私自身、入会初期の奉仕活動に触れていない頃は、ロータリーに魅力を感じていなかった。しかし、自クラブの国際奉仕活動に参加して、奉仕活動の素晴らしさを肌で感じられた。</li> <li>奉仕先の選定や予算のお悩みも、当委員会に相談して欲しい。</li> <li>この後、ウクライナ避難民の現状や、各クラブの奉仕活動情報共有サイト、およびロータリー財団補助金のお話をするので、是非今後の奉仕活動の参考にして頂きたい。</li> </ul>
発表者：大阪国際交流センター 常務理事 兼 事務局長 梅元 理恵 (15 時 47 分)
<p>【記録内容】ウクライナ避難民の現状～相談対応から見えてきた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ避難民支援の取り組みについて、支援施策の一連の流れを説明</li> <li>中長期的な日本滞在における課題と支援について、生活・日本語・就労の観点から説明</li> <li>就労について、雇用者と労働者のマッチング成功事例について説明 (3 事例)</li> </ul> <p>【課題解決に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウクライナ避難民への就労先の拡大</li> <li>避難民の持つスキルに合わせた雇用</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な雇用形態（パートタイム含む）への対応<ul style="list-style-type: none"><li>→ 避難民への理解を持つ雇用先とのマッチング</li><li>→ 企業・避難民との直接的な出会いの場</li></ul></li></ul> <p><b>【働こうとする避難民の側の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難民の日本語力の向上</li><li>・避難民の持つスキルの説明</li><li>・避難民自身の環境の説明</li></ul>
発表者：ロータリー財団委員会 補助金小委員長 新堂 博 （16 時 08 分）
<p><b>【内容】</b> 地区補助金とグローバル補助金</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ロータリー財団補助金（地区補助金・グローバル補助金）についての概要を説明</li><li>・My Rotary 登録、ラーニングセンターでの研修受講を推奨</li><li>・ロータリー財団補助金を申請するためのヒントやガイドラインは地区のホームページに掲載されているので、ぜひ活用して欲しい。</li></ul> <p>&lt;2023-24 年度の重点施策&gt;</p> <p>「戦争で傷ついた人への人道的支援」</p> <p>「コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援 （心の健康向上につながる支援）」</p>
発表者：次年度地区国際・社会奉仕委員会 副委員長 庄田 佳保里 （16 時 25 分）
<p><b>【内容】</b> 地区における社会奉仕活動について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地区委員会の役割は、2660 地区内のクラブが奉仕活動を円滑に行えるよう支援すること</li><li>・地区委員会の活動方針は、</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>① クラブの国際・社会奉仕活動を支援すること</li><li>② ローターアクト(次世代)との交流と協働すること</li><li>③ クラブとクラブ、またはクラブと地域活動団体をマッチングすること</li><li>④ ロータリー財団補助金の活用について、今さら聞けない内容について相談に乗ること</li><li>⑤ ローターアクトとの交流をし、また協働すること</li></ol>
発表者：次年度地区国際・社会奉仕委員会 副委員長 中根 三恵子 （16 時 36 分）
<p><b>【内容】</b> ウクライナ人道支援 チャリティゴルフコンペについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ウクライナ人道支援チャリティゴルフコンペの案内</li></ul> <p>日時：2024 年 3 月 19 日（火）</p> <p>スタート時間 未定</p> <p>場所：六甲国際ゴルフクラブ</p> <p>チャリティーにご賛同いただけるアマチュアゴルファーならどなたでも参加可能なので、クラブの仲間や友人をお誘い頂きご参加頂きたい。</p> <p>参加するだけで、ウクライナへの人道支援に繋がる。</p> <p>一般の方にもロータリーの活動を広く知って頂き、多くの仲間を増やすきっかけになれば嬉しい。</p>

発表者：次年度地区国際・社会奉仕委員会 副委員長 古澤 みちよ (16 時 41 分)

【内容】「有意義で魅力ある奉仕プロジェクト」

・有意義で、魅力ある奉仕プロジェクトの紹介

<我々のミッション>

・世界の現状を知ってもらう

・子供たちに自分を表現することの素晴らしさを知ってもらい、夢と希望を与える

・支援の輪を広げる

・RCの活動を知ってもらう

<具体的活動>

・子供たちによる絵画展

⇒世界中の子ども達の絵を集めて、展示世界の現状、平和の尊さを認識する場にする

・花束展

⇒世界中の子ども達に「花」を描いてもらい、展示は巨大な「花束」を作っていく

・No Border 展

⇒キャンバスを子供のシルエットの形にして、子供が手をつないでいるように見せる

・平和のあかり展

⇒灯籠に世界中の子ども達の絵を巻き付け、たくさんの平和の灯が灯った展示にする

閉会 (16 時 45 分)

備考・メモ

2023 年 4 月 24 日 (月) までに Word のままメール添付でお送りください。

返信先：ガバナー事務所 E-mail : [sugimoto@ri2660.gr.jp](mailto:sugimoto@ri2660.gr.jp)